東京工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	英語特講

科目基礎情報

科目番号	0039	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	物質工学専攻	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	前期:2
教科書/教材	『使える理系英語の教科書』（東京大学出版会）、『英文校正会社が教える 英語論文のミス100』（ジャパンタイムズ）		
担当教員	小林 礼実		

到達目標

【目的】
この科目を受講することにより、英語で専門知識を発信する際の基礎を学ぶ（プレゼンテーションとアブストラクト）
【到達目標】
1．自分が昨年行った研究について、英語で適切にアブストラクトを書くことができる。
2．英語で自分の研究や専門について分かりやすくプレゼンテーションができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安（可）	未到達レベルの目安
評価項目1	教科書や講義で学んだことを取り入れて、効果的なテクニカルライティング・アカデミックプレゼンテーションを行うことができる。	教科書や講義で学んだことを取り入れて、テクニカルライティング・アカデミックプレゼンテーションを行うことができる。	テクニカルライティング・アカデミックプレゼンテーションを行うことができる。	テクニカルライティング・アカデミックプレゼンテーションで、意味ある内容を伝えることができない。
評価項目2	教科書や講義で学んだことを取り入れて、クラスメイトの成果物に効果的なフィードバックを行える。	教科書や講義で学んだことを取り入れて、クラスメイトの成果物にフィードバックを行える。	クラスメイトの成果物に意味あるフィードバックを行える。	クラスメイトの成果物に意味あるフィードバックを行えない。
評価項目3	専門的な語彙を多岐に渡って、効果的に収集できる。	専門的な語彙を効果的に収集できる。	専門的な語彙を収集できる。	専門的な語彙を収集できない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育目標 A4 学習・教育目標 B2 学習・教育目標 B3 学習・教育目標 D3

教育方法等

概要	本授業では、プレゼンテーションやテクニカルライティングの基礎について学ぶと同時に、学生本人の実践を通して、専門分野・知識のプレゼンテーション、アブストラクトの書き方を身に着ける。実践なくしては身につかないので、学生本人の授業外での準備が必須となる。
授業の進め方・方法	学生が準備してきた発表・成果物に関して、教科書や講義の内容を基に、良い点・改善点をクラスメイトと話し合い、適切なアブストラクトやアカデミックプレゼンテーションを用意できるようになることを目指す。学生による発表と演習が本授業の主軸となる。学習単位科目であり、授業外での課題や発表準備が必須である。
注意点	・課題や発表内容は、必ず締め切りまでに提出すること。　・辞書を所持していない物は必ず事前に購入すること。また、毎回授業に持参すること。　・実践を伴う授業である。受け身ではなく、前向きに取り組むこと。

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション シラバス配布、授業で使用する教材の確認。発表の順番決め、日本語で自己紹介、など。	授業の進め方、宿題などの課題、授業の目標、について理解する。
		2週	プレゼンテーション：英語で自己紹介 伝えるということ、プレゼンテーションとは	一般的に良しとされるプレゼンテーションについて理解を深める。英語で自分を表現できる。
		3週	テクニカルライティング：英語で去年の自分の研究について短く説明した文章（事前準備）をクラス内で共有、テクニカルライティングとは	テクニカルライティングの概要について理解する。英語で自分の研究について伝える。
		4週	語彙収集の発表、論文執筆について、アブストラクトのサンプルを吟味する	自分の専門分野で使われる典型的な表現などを、自分で収集できる。アブストラクトの性質について理解する。
		5週	アブストラクト・ファーストドラフト、クラス内全員で英文校正(1)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。
		6週	アブストラクト・ファーストドラフト、クラス内全員で英文校正(2)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。
		7週	アブストラクト・ファーストドラフト、クラス内全員で英文校正(3)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。
		8週	アブストラクト・セカンドドラフト、クラス内全員で英文校正(1)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。
	2ndQ	9週	アブストラクト・セカンドドラフト、クラス内全員で英文校正(2)	自分・クラスメイトのアブストラクトの構成上・英文上の問題点が分かる。語彙収集を続ける。
		10週	語彙収集の発表、アカデミックプレゼンテーションとは	専門分野で必要とされる語彙の蓄積がある。アカデミックプレゼンテーションの性質について理解する。
		11週	アカデミックプレゼンテーション実践(1)	英語で自分の研究分野について発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。

		12週	アカデミックプレゼンテーション実践(2)	英語で自分の研究分野について発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。
		13週	アカデミックプレゼンテーション実践(3)	英語で自分の研究分野について発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。
		14週	アカデミックプレゼンテーション・ディスカッション実践(1)、意見の述べ方	英語で自分の研究分野について分かりやすく発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。
		15週	アカデミックプレゼンテーション・ディスカッション実践(2)	英語で自分の研究分野について分かりやすく発表する。自分・他の学生のプレゼンテーションの構成・英文の問題点が分かる。
		16週	進度調節とまとめ	これまで学んだことの要点を自分の言葉でまとめることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	課題	ライティング	プレゼン	相互評価		合計
総合評価割合	26	25	25	24	0	100
基礎的能力	10	0	0	0	0	10
専門的能力	16	25	25	24	0	90
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0